

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 13日

事業所名 西宮すなご医療福祉センターさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数によって、フロアを変えて広い場所で活動をするようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		放課後デイに関係する職員が集まり話し合いを持っています。	保護者の評価を受けて取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		本体施設のホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は行っていません。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設内外の研修に参加しています。	内部研修や外部研修、オンライン研修など随時受けられるように研修の紹介などを行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		重心児対象のアセスメントツールは無いが、医療的なアセスメントや、発達年齢に沿ったアセスメント計画に反映できるようにしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で活動内容を考えるようにしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ内容が続かないように工夫しています。	活動プログラムが固定化しないよう多職種の意見を取り入れていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に担当職員同士で打合せを行い療育に臨んでいます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で支援について話し合っています。	支援終了時すぐに話し合いの場を持たない場合もあるが、会議の場などで利用児の情報共有ができるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育終了後に必ず記録を取っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度は見直しを行っています。	今後も6ヶ月に1度を基本として、必要に応じて支援の見直しを行います。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	ケース担当が会議に出席するようにしています。	今後もそのような会議が開催される際には担当職員が出席できるようにします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	必要に応じて学校との情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	事業所担当医と主治医で連絡を取っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	児童発達支援事業所と情報共有し、利用者理解に役立てています。	今後もそのようなケースができた時には情報共有が行えるように努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		そのようなケースができた時には情報共有が行えるように準備していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との連携を今後検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ感染症の対応も5類に変わったので、今後に向けて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		他部署職員が参加しているので情報共有をしていきます。また、必要に応じて会議に参加できるようにします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡ノートでのやり取りや、送迎の際に様子を伝えていきます。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明するようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	健康面など、相談があった時には必要な助言や支援を行っています。	今後も必要に応じて支援していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会はありませんが、必要に応じて支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情等意見が挙がった際には、速やかに会議を開き話し合いを持って対応を検討し、子どもや保護者に周知します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	定期的にさくらんぼ便りを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ感染症の対応も5類に変わったので、今後に向けて検討していきます。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	施設としてのマニュアルは策定され職員には周知しています。	保護者に対する説明の機会を作るようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	職員は施設の訓練に参加しています。	放課後デイの時間に訓練が行えるように検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	施設内外の研修に参加しています。	今後も研修の機会に参加できるようにしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束については、組織で話し合いの場を持ち同意書を作成し、保護者への説明を行い同意を頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	利用開始前に家族から情報を収集しています。	対応必要な児は現在いませんが、必要時には対応できるように準備します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	施設として、ヒヤリハット事例を収集して共有しています。	